

第107回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	買	掛	金
仕	入	売			上	受	取	手	支	払	手
備	品	手	形	売	却	損	支	払	利	息	受
所	得	受	取	手	数	料	支	払	手	数	料
未	払	金	租	税	公	課	前	受	金	前	払
仮	受	金	仮	払	金	損			益	資	本
手	形	貸	付	金	手	形	借	入	金	受	取
										地	代

- 得意先出井商店に商品 ¥ 600,000 を売り上げ、代金のうち ¥ 100,000 はかねて受け取っていた手付金を充当し、¥ 300,000 は澤田商店が振り出した約束手形の裏書譲渡を受け、残額は掛けとした。
- 店主が負担すべき所得税 ¥ 300,000 および当店の負担とすべき固定資産税 ¥ 100,000 を小切手を振り出して支払った。
- 南部商店から、年利率 5%、期間 6 か月の条件で ¥ 1,000,000 を借り入れ、現金を受け取った。なお、利息を含めた金額の約束手形を南部商店あてに振り出した。利息は月割計算するものとし、約束手形の振り出しに伴う債務は手形金額で記帳すること。
- 家具卸売業を営む小笹家具店は、販売用の椅子 20 台を @ ¥ 20,000 で信太商店から購入し、代金は翌月払いとした。その際の引取運賃 ¥ 30,000 は、現金で支払った。
- 決算日において、売上および受取地代の勘定残高を損益勘定に振り替えた。なお、当期中の総売上高は ¥ 2,000,000 、戻り高は ¥ 50,000 、値引高は ¥ 30,000 であった。また、当期中の地代の受取高は ¥ 60,000 、決算日における未収高は ¥ 20,000 であった。